

二九年度一般会計豫算

町民税	一町民税 二〇、一七五、三六四	旅費	一三三、六〇〇	
固定資産税	九、五一五、八六五	需用費	五〇、〇〇〇	
自転車税	九五〇、〇〇〇	負担金研究費	三八、九〇〇	
荷車税	三四〇、四〇〇	職員費	四五、八〇三	
電気瓦斯税	二四六、六〇〇	被手當	二七〇、二〇〇	
卸送税	九五〇、〇〇〇	旅費	三四八、五九〇	
木材引取税	一〇、一〇〇	旅費	二〇、〇〇〇	
犬税	二八六〇〇	賃金	一、〇〇〇	
旧法による税	一〇九、〇〇〇	交際費	三二〇、〇〇〇	
二平衝交付金	四、八〇〇、〇〇〇	需用費	六一一、六〇〇	
三公營企業及財産收入	一、一〇五、〇〇〇	共濟費	八二四、八五四	
三〇〇、四八八	職員給	五〇、〇〇〇	負担金及研究費	五〇、〇〇〇
六県補助	三五〇、二五〇	被手當	三四五、九二〇	
十町債	五〇〇、〇〇〇	旅費	二〇、〇〇〇	
七寄附金	一一、八〇〇	貨金	一、〇〇〇	
八継越金	二〇、〇〇〇	需用費	八〇七、二五〇	
九継収入	八一九、五二八	負担金及研究費	九九、二六三	
十町債	五〇〇、〇〇〇	維持修善費	一九五、〇〇〇	
合計三〇、二四五、八〇五	四土木費	一、二三五、五八四		
一議員報酬	二〇、〇〇〇	道路維持修善費	一〇〇、〇〇〇	
歳出	五教育費	都市計画費	四三五、五八四	
一議員報酬	一三四、〇〇〇	施設費	三八五、五八四	
歳	六、三二一、五八一	墓地費	一、八〇〇	
句	汚物掃除費	八産業経済費	二五七、〇〇〇	
向日葵	火葬場費	農業委員会費	二、四六五、六七一	
山石	一九、四〇〇	商工振興費	七八六、四〇〇	
庄	七〇、三〇〇	農業施設費	八四八、九二五	
水	一五、三〇〇	信用保証審査会費	四三、〇〇〇	
草	九、二〇〇	市場費	六〇、〇〇〇	
花	九、一〇〇	産業奨励費	六〇、〇〇〇	
樹	九、〇〇〇	市	一五七、三四六	
木	九、〇〇〇	場費	五、〇〇〇	
竹	九、〇〇〇	十一選舉費	六二、五〇〇	
蘿	九、〇〇〇	十二公債費	五九、五五〇	

新入進学々生数	十三賄支出金
三〇、七三七、一七一	三、七三七、一七一
十四予備費	十四予備費
三〇〇、〇〇〇	合計三〇、二四五、八〇五
以上のように慎重審議の上議決され、昨年予算に比して二、七九九、一六一円の増加になつてゐるが、これは物価により自然増加を來したたよな説であるが、昨年よりはすつと諸般の支出を切りつめた節約予算であるといわれている。	以上のように慎重審議の上議決され、昨年予算に比して二、七九九、一六一円の増加になつてゐるが、これは物価により自然増加を來したたよな説であるが、昨年よりはすつと諸般の支出を切りつめた節約予算であるといわれている。
○新保小学校	○小須戸中学校へ進学
四二 (男二四女一八)	二五八 (男一七八女一
(男一三女一四五)	三〇) 外十五名委託生
○横水小学校	○小須戸小学校入学数
三六 (男一九女一七)	一五九 (男八七女七二)
○矢代田小学校	○矢代田小学校
九五 (男五七女三八)	九五 (男五七女三八)
(六) 交通事故	他家に用映中綱をかけず、に置くことやはり盗まれやすしから必ず錠をかけておこことです。県下で昨年中自転車被害は千件以上になり殆んどが未解決です。一般の人も営業者でも法外な安値に売りに来たら必ず警察へ連絡して下さい。
交通事務も犯罪の一つですから注意して下さい。	道路に面した商店が若し商品の音反響音余地なし

敬言察だより

火の用心

家庭欄

○アンモニア小サジー
薬品は上質のもの使使用する物
○下に敷く布・やわらかい布
(陰干し) 天気のよい乾燥した時をえらび二十分~三十分陰干しする
次ぎに軽く手のひらにはさみパンツなどをしてはこりを出す

スエター・オーバー

簡易クリーニング

湯一升アルコール一小

スエター・オーバー 簡易クリーニング

手軽で便りを出す。
利な方法で
（はこり）出したら
拭き取
りに用意
う毛ばた

風土記 柏

を一寸打ちました。まる
と當日頃仲のよくなない間
柄なのに虫のいどころが
悪しかつたものか「拙者
に対し無礼であろう」と
ついに刀に手をかけ中村

簡易保険が一五万圓に大巾引上

書道小須戸の譽
文部大臣賞
県知事賞
輝く一連題

書道小須戸の譽
文部大臣賞
県知事賞
輝く一連題
全國書道展に異彩

の実力に、不時の備えに、頭書のようになればそれだけの信用の増進に、また家族のためには是非一人一口以上のお加入をおすすめします。

募 集
火木土七時より
須戸小学校
員校・会員へ
ミントンクラブ

の名主がいました
戸小学校の処が中
エ門名主の屋敷あ
り、一番町「はり
ん」附近には大門
門名主の屋敷があ

小須
村五左
とであ
まやさ
ものです。

短期融通、
ト買日一五〇万
旨様が御加入になつて
る簡易保険、郵便年金
積立金が二十八年度に
須戸郵便局区内へつづ
くように融資されて学校
建築やその他のいろいろ
のためには是非一人一口
上の加入をおすすめし
ます。

四 まのの小のい ま以族、
五 段 初段 二段 三段 五段 五段
六 小川古加池吉堀吉義一川高高吉高吉
七 林瀬田藤田内田和本瀬山山田野田
八 德津英友政敏孝堅喜槍一留太徳藤徳
九 佐太夫春広夫平太一誠平一義一三郎
十 郎 郎 策 郎 横 槓 新
十一 新

の名主がいました。戸小学校の外が中門名主の屋敷があり、一番町「はりん」附近には大開門名主の屋敷がある古木の「能登さく」に近い宇野文蔵名主(コキ名主)がおり、この中村名主と太行きました。その行きました。その村名主がいさゝへ年始に二人が招

に大巾引上げ 險が

氏は天領だといつて、威張つたとのことで、今から約三百三十年位の天和年間頃は庄屋のことを、「きも」といふ言葉もありました。それがその後姓屋、名主と云う名称になったのです。その他里では、もうより庄屋、名主

庄旨いつりい前名位す。交入の市木本村極八の町上町から旧郵便通して涉場町、薪町、上稻荷町から区域で松並木であり、外堀をめぐるには稻荷堂があるのです。今でも吉野は当時の稻荷堂をしております。今は昔よりその名残り